

★マドゥーロ政権を国連から追放しよう＝ペンス米副大統領の演説

米国のペンス副大統領は4月10日、ベネズエラ問題についての国連安保理の特別会合で演説し、マドゥーロ政権を国連から追放するように呼び掛けた。ベネズエラの問題は「独裁と民主主義の闘争だ」とし、第二次世界大戦の教訓や、共産主義とのたたかいを宣言したトルーマン・ドクトリンを想起させながら、マドゥーロ政権の打倒は安保理の重要な任務だと強調。またキューバとイランを名指しし、マドゥーロ政権をささえる「ならず者国家」と非難、制裁を強化するとのべた。以下はその演説テキストの全文。

私は本日、ベネズエラで進行中の危機について討議し、この国での民主主義と法の支配のため立ち上がるよう安保理によびかけるため、米大統領の代理としてここにきました。

別のアメリカ大統領が何年も前に言ったように、国連憲章の第24条は、この安全保障理事会に「国際平和と安全の維持に対する責任」を与えています。それがこの機関の存在理由です。

ベネズエラの人々は6年もの長い間、過酷な圧政の下に苦しんできました。マドゥーロ政権の社会主義政策により国の経済は半分近くに縮小しました。かつては西半球で最も裕福な国の一つでしたが、現在では10人中9人が貧困の中で暮らしています。平均的なベネズエラ人は、必需品の欠乏と栄養失調のため体重を20ポンド以上も減らしました。何千人もの子供たちが飢えています。そしていまこの時も、ベネズエラ中の病院の幼児たちが基本的な医療を受けられずに死にかけています。

マドゥーロ政権は、この欠乏と苦しみの最中に、反対する人に対してだれかれとなく暴力と脅迫を使いました。この3ヵ月の間に、政権は正当な法的手続きなしに少なくとも1,255人を投獄し、抗議する人を40人も殺害しました。これが私たちの扱っている体制の本質です。

マドゥーロ政権はベネズエラの人々にとって脅威であるだけではありません。それは、より広い地域の平和と安全への脅威でもあります。ベネズエラでの絶望の高まりは、人々の大規模な国外脱出を助長しましたが、そのような脱出は西半球では見たことがありません。300万人以上のベネズエラ人が今、彼らの最愛の国を捨てました。事態が改善しなければ、今年中にさらに200万人が続く

と予想されています。

妻と私はこの地域を旅しながら、欠乏状態の結果を直接目の当たりにしました。ブラジルのマナウスの教会で、私たちはベネズエラから逃げてきた家族と話をしました。ある父親は、2人の男の子が彼のそばに立って私を見ているとき、自分が父親として一日の終わりに家に帰って「今日は食べ物がない」というのがどれほど大変だったかと言った時のことを私は忘れません。2人の男の子は当時を思い出して、父親を見上げてうなずいていました。

コロンビアのカルタヘナで、ベネズエラの人々が欠乏から逃げてきた場所にいました。そこである祖母が小さな田舎町でどのように事態が悪化したかを話しました、彼女の孫は午後4時に一切れのパンを購入するために朝4時におきてチケットを手に入れなければなりませんでした。子供たちは飢えていたのです。そこで彼女は孫を集めて国から逃げたのです。世界は欠乏状態についてのこれらの話に耳を傾けないわけにはいきません。

実は、この事態の背後にいる人たちは犯罪と暴力、そして無法に陥りやすくなります。ベネズエラの泥棒は銀行を襲いません。彼らは食べ物のためにレストランを襲うのです。悪意のあるギャングたちと、いわゆるコレクティブが街を交戦地帯に変えました。毎日70人以上が殺害されているので、ベネズエラの殺人率はいまや世界で最も高くなっています。

ベネズエラは破たん国家であり、歴史が教えているように、破たん国家は境界を知りません。麻薬密売人、犯罪組織、さらにはヒズボラのようなテロリストも、ベネズエラの混乱を利用して地域に足場を築き、犯罪と暴力を輸出しています。私たちが危機を継続させれば、混乱と苦しみは広がるだけです。

ベネズエラの闘争は独裁と民主主義の間です。ニコラス・マドゥーロは独裁者であり、権力を主張する正当な権利はありません。ニコラス・マドゥーロは退陣しなければなりません。

人々は苦しみのために、ベネズエラ全土で、大小さまざまな都市で立ち上がっています。彼らは抑圧と欠乏に抗議しています。今日も、勇敢なベネズエラ人たちは再び街頭に繰り出すでしょう。トランプ大統領が少し前に言ったように、「(ベネズエラでの) 自由のための戦いは (ちょうど) 始まった」のです

わずか 3 か月前です。ニコラス・マドゥーロが不正選挙で盗み取った 2 期目の就任宣誓をした後、ベネズエラで唯一正当に選出された団体である国会が憲法にのっとりその権限を行使し、新しいリーダーとしてフアン・グアイド暫定大統領を認めました。

そして西半球の至る所で、各国が立ち上がりグアイド大統領への支持を宣言してきました。先月、米州開発銀行は投票をおこなってグアイド大統領の代表に席を与えました。今週初め、G7 は声明を発表し、2018 年 5 月の大統領選挙は正当性が欠如していると述べ、マドゥーロ政権にたいして「国会の権限を回復する」よう呼びかけました。

そして昨日、世界で最も古い地域組織である米州機構が投票を行って、ベネズエラの人々の側にたち、グアイド政府の代表をベネズエラの唯一の真の代表として承認することを決定しました。

トランプ大統領の指示により、グアイド暫定大統領を合法的大統領として認めた最初の国になったことを米国は誇りに思っています。そして今日、54 カ国が私たちの仲間に加わりました。西半球は明確に意見を表明しました。世界中の国が表明しています。いまこそ国連が表明するときです。

米国は 2 月に安保理に対し、ベネズエラの民主主義の回復と、すべての人道援助の受け入れを許可するようマドゥーロ政権に求める決議案を提出しました。その決議は承認されませんでした。この残忍な政権を支持し続けている 2 つの国が拒否権を行使して安保理の行動を阻止したのです。そしてロシアと中国が安保理を妨害し続けている間、イランとキューバのような、ならずもの国家がマドゥーロ政権を支えるため可能なあらゆることを行っているのです。

キューバは何十年もの間、私たちの地域全体にクライアント（お客、追随者）国家を造ろうとしてきました。通常の間は商品輸出しているのに対し、キューバは専制政治と剛腕戦術を輸出しています。現在でも、キューバの軍事および諜報機関はベネズエラの秘密警察を訓練し、支援し、装備させています。そしてベネズエラの秘密警察は反対派を黙らせ、野党のメンバーを投獄し拷問しているのです。

米国は先週、ベネズエラの石油をキューバまで輸送する船舶に制裁を発動しました。そして間もなく米国は、トランプ大統領の指示で、ベネズエラにおける

キューバの悪意のある影響についてキューバに責任をとらせる追加の行動を発表するでしょう。

キューバの行動に加えて、ベネズエラは今週、イランから代表団を招きました。2つのならずもの国家の首都間の直行便サービスを開始するためです。ブラックリストに載せられたこの航空会社は、イランのイスラム革命防衛隊によるテロ輸出のため使用されている会社で、トランプ大統領は4月8日に正式に外国テロ組織に指定しました。

ニコラス・マドゥーロはこういう付き合いをしています。そして彼がベネズエラの国民を苦しめている間、これらの国々は彼を支え続けています。ほんの2ヵ月前です。市民が撃たれ、食料や医薬品を積んだトラックが燃やされている間、独裁者はカラカスでダンスをしていたのです。

カラカスの独裁者を助成している国々とは異なり、米国はトランプ大統領の指導の下で、ベネズエラ国民の側にたってきました。そしてマドゥーロ政権によって荒廃させられた家族と共同体を断固として援助していきます。

現時点で、米国は独裁者に忠実な150人以上の政府高官と組織に制裁を課しています。国営企業に制裁を課しマドゥーロ政権が人々から彼らの正当な所有物を奪うことができないようにしています。そしてトランプ大統領が言ったように、私たちは「もっともっと厳しく」なることができます。

さらに、米国はベネズエラ国境に500トン以上の食料と人道的物資を運んで、すぐに配給できるようにしました。私たちは、避難したベネズエラ人とそれらを支える受入団体を支援するために2億ドルの援助を提供しました。そして今日、トランプ大統領の指示で、米国はこの危機に対処するためにさらに6000万ドルの人道支援を発表しています。

米国は、ベネズエラで民主主義への平和的移行をもたらすためにあらゆる外交的および経済的圧力をかけ続けます。しかし、すべての選択肢はテーブルの上にあります。

これまで他の国際機関は行動してきましたが、国連と安保理は行動を拒んできました。しかし西半球中の諸国が声を上げた今、国連は今こそ、グアイド暫定大統領をベネズエラの合法的な大統領として認め、その代表を招くべきです。

ベネズエラの国連代表の信任状を取り消し、グアイド暫定大統領を認めて遅滞なくこの席に自由ベネズエラ政府の代表を置くべきです。

(向いに着席していたベネズエラのモンカダ国連大使に向かって) 敬意を持っていますが、大使、あなたはここにはいけません。あなたはベネズエラに戻り、もうおしまい、退陣するときだとニコラス・マドゥーロに伝えなければなりません。

安保理メンバーのみなさん。ベネズエラの男性、女性、そして子供たちは苦しんでいます。彼らの経済は破壊されました。民主主義は破壊されました。ベネズエラの人々は代価を払っています。私たちが行動しなければ、地域と世界は遠からず代償を払うことになります。

歴史には傍観者はいません。私たちの半球の平和と安全のために、世界と国連はベネズエラの人々の側に立たなければなりません。

そのために米国は、グアイド暫定大統領の合法性を認める決議を準備しています。そして今日、私たちは安全保障理事会のすべてのメンバーとすべての国連加盟国にこの決議を支持するよう強く求めます。ベネズエラの人々は自由、民主主義、国への自由を取り戻すために立ち上がっています。だから彼らの側に立ってください。彼らは脅迫や暴力に対して立ち上がっているのです。今日でも、ベネズエラの人々は自由の行進のため街頭にでているのです。

すべての困難を乗り越えて、彼らは行進し続けます。どんなに抑圧があっても行進し続けます。反対にもかかわらず、彼らは勇気と力で行進し続けます。自由を求めているからです。そしてシモン・ボリバルの言葉では、「自由を愛する人は最後には自由になるでしょう」。

国連が行動を起こし、世界がベネズエラの人々の側にたつて自由に向かって前進する時が来たのです。

歴史は、世界の文明国家が抑圧を放置したままにするとときに何が起こるかを教えてくださいました。残忍な独裁政権がヨーロッパで生まれたとき、世界は対応できませんでした。第2次世界大戦で数百万人の命が失われました。その直後に世界中の国々が集まって独裁政権に一つの声で立ち向かうことができるようにこの組織(国連)は作られました。

だからこそ米国は国連がその目的に沿って生きるよう呼びかけています。破綻したニコラス・マドゥーロ指導部を拒否し、私たちと一緒に立ち、この半球を越えて世界中の国々と共に立ち、ベネズエラの人々を助けて明るい未来をつくろうではありませんか。

トランプ大統領は言いました。「正義の多数派が邪悪な少数者に立ち向かわなければ、悪が勝利するでしょう。まともな人々と国家が歴史の傍観者になるとき、破壊の力が権力と強力を集めるだけです」。

この組織が設立された時の使命、すなわち国際的な平和と安全を維持することに私たち自身が再び貢献しましょう。そして私たちがそうして平和のためにあらゆる努力を払うならば、平和の神が私たちを導き、私たちを祝福してくれることを確信しています。

議長閣下、本日はありがとうございました。ベネズエラの人々とすべてのみなさまに神の祝福がありますように。

(了)